

産業建設常任委員会

日時 令和6年4月22日（月）

午前10時00分から

場所 現地及び全員協議会室

<現地視察> 午前10時00分から

(1) 本開発地区土地区画整理事業(公園屋内遊具施設等)

(2) 下水道管路地震被害状況(海王地内)

<委員会> 午後1時00分から

1 職員紹介

産業経済部 ⇒ 都市整備部 ⇒ 上下水道部

2 議題

(1) 令和6年度各部・課等の所管事項及び主要事業について

産業経済部・農業委員会 ⇒ 都市整備部 ⇒ 上下水道部

(2) 報告事項(5件)

① 令和5年度物価高騰対策のための生活支援・消費喚起事業の実績について

(産業経済部 商工企業立地課 資料1)

② 富山県連携事業「寿司」を突破口としたブランディングによる関係人口増加プロジェクト事業について

(産業経済部 商工企業立地課 資料2)

③ 観光庁「特別な体験の提供等によるインバウンド消費の拡大・質向上推進事業補助金」の採択について

(産業経済部 観光まちづくり課 資料1)

④ 令和5年度ふるさと射水応援寄附(ふるさと納税)について

(産業経済部 農林水産課 資料1)

⑤ 港町地内の土質調査について

(都市整備部 建築住宅課 資料1)

(3) その他

令和5年度物価高騰対策のための生活支援・消費喚起事業の実績について

1 趣旨

燃料・原材料価格の上昇による物価高騰等を受け、市民生活及び事業者の経営を支援するため実施した消費喚起事業の実績を報告するもの。

2 事業名 プレミアム付デジタル商品券「射水まるごとデジタル応援券事業」

3 事業概要

(1) 事業主体 射水市商工協議会（委託先：株式会社 DEITA）

(2) 内 容

デジタル商品券（アプリ版及びカード版）

1セット 10,000 円（券面額 13,000 円）プレミアム率 30%

・共通券：大企業を含む全店で使用可 6千円分

・地域券：中小・小規模企業でのみ使用可 7千円分

(3) 発行数 30,000 セット

（アプリ版：20,000 セット カード版：10,000 セット）

(4) 販売方法 事前申込制（市民優先受付期間あり）、1人1セットのみ購入可能

・アプリ版はクレジット決済又はコンビニ購入

・カード版は市内郵便局で購入

(5) 利用期間 令和5年10月20日（金）～令和6年1月21日（日）

※能登半島地震の影響を考慮し、利用期間を延長

(6) 対 象 全業種（射水商工会議所又は射水市商工会会員の店舗 計324店舗）

(7) 予 算 126,000 千円（市補助金：86,000 千円 県補助金：40,000 千円）

内訳 プレミアム(30%) 90,000 千円 委託料 36,000 千円

4 事業実績

(1) 販売実績 26,373 セット 263,730 千円（87.9%）

(2) 利用額 341,360 千円（99.6%） ※R4 実績 利用率：99.7%

(3) 決算額 113,427 千円（市補助金：73,427 千円 県補助金：40,000 千円）

(4) 利用割合 中小企業：68% 大企業：32%

(5) 利用先 スーパー・食料品：65.7% 飲食店：10% その他：24.3%

(6) 意見等 利用者

・電子決済は便利

・利用できるお店をもっと早く知らせてほしい

・利用店舗が少なかった

事業者

・事業継続をお願いしたい

・アプリ版とカード版との併用が煩雑

・1人1セットではプレミア感がない

デジタル田園都市国家構想交付金（国補助 1 / 2）

事業計画期間	R6～R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	97,800千円 (31,800千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野（詳細）	観光振興（しごと創生） 観光振興（DMO）等の観光分野
目的（効果）	富山県が幸せ人口1000万人の実現に向け、寿司と言えば、富山 と言われるように寿司をフックにブランディング事業を実施するにあたり、県と連携して寿司のP R、寿司職人の人材育成及び寿司店の新規出店等を目的とした事業を行うことで、本市の寿司文化の維持・継承を目指すとともに、地域振興や経済活動の活発化といった幅広い分野において効果を波及させるもの。		

主な事業

- ① 「寿司店等誘致事業」
新たな寿司店の誘致に向けた情報収集、ニーズ調査等を実施
- ② 「寿司P Rイベント事業」
射水市の寿司や食材等を広くP Rするために首都圏等でイベント等を実施
- ③ 「寿司人材育成事業」
寿司職人養成に要する経費を助成、チャレンジショップ使用料の助成
- ④ 「寿司店等新規出店事業」
新たに寿司店等を出店する経費の一部を助成
- ⑤ 「新規漁業就労者応援事業」
新たな漁業就労者の確保のため、環境整備にかかる経費について助成



観光庁「特別な体験の提供等によるインバウンド消費の拡大・質向上推進事業補助金」の採択について

本補助金は、地方におけるインバウンド消費が地域ごとに大きな差が生じている現状を踏まえ、その地域が誇る様々な観光資源を活用し、これまでにないインバウンド需要を生み出すための「地方プレミアム体験コンテンツ」の創出を目的とするものである。

1 事業費 35,000千円(国10/10)

2 事業概要

本市の観光の魅力を組み合わせたインバウンド向けのプレミアムツアーを造成し、主に台湾へのプロモーションを展開しながら、インバウンド誘客と観光消費額の更なる拡大につなげるもの(本市での宿泊につながる早朝、夜間のコンテンツ造成を重視)。

〔主な事業〕

① 富山新港花火大会の船上貸切観覧

富山新港花火大会を帆船海王丸の船上から貸切観覧するツアーを造成。併せて有料観覧席の更なる拡充を図る。



② 内川ナイトクルーズのブラッシュアップ

観光船の内装改修を支援するとともに、夜の獅子舞の貸切鑑賞(獅子舞体験含む)や着物の着付け体験、内川沿いへの竹あかりの設置等を組み合わせ、より付加価値の高いツアーを造成。



③ インバウンド向け白エビ漁見学ツアーの造成

SDGsに取り組む漁師の説明(通訳付き)を聞きながら、白エビ漁を間近で見学でき、白エビをその場で食べられる本市でしか体験できないツアーを造成。



3 事業主体 一般社団法人射水市観光協会

令和5年度ふるさと射水応援寄附(ふるさと納税)について

1 寄附額及び件数

表1

令和5年度 R6.3.31現在(速報値)		令和4年度		増減率(対前年)	
寄附額(円)	件数(件)	寄附額(円)	件数(件)	寄附額	件数
309,273,918	14,276	307,455,000	13,757	100.6%	103.8%
(うち 災害支援(直接寄附)分 14,490,910)					
(うち 災害支援(代理寄附)分 1,327,100)					

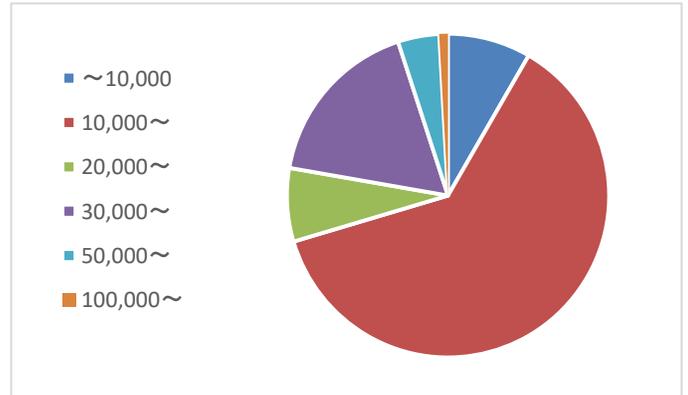
2 金額別寄附件数及び割合

表2

金額(円)	令和5年度		令和4年度	
	件数	割合	件数	割合
～10,000	1,183	8.4%	0	0.0%
10,000～	8,785	62.1%	9,869	71.8%
20,000～	1,038	7.3%	963	7.0%
30,000～	2,440	17.2%	2,382	17.3%
50,000～	587	4.1%	457	3.3%
100,000～	124	0.9%	86	0.6%
合計	14,157		13,757	

※災害支援(代理寄附)分は含まない

図1



3 人気返礼品の選択傾向

表3

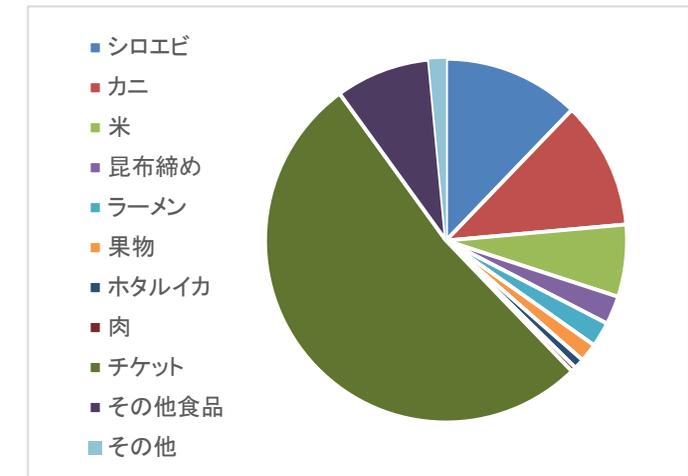
種別	令和5年度		令和4年度	
	件数	割合	件数	割合
シロエビ	1,553	12.2%	1,696	11.6%
カニ	1,442	11.4%	1,697	11.6%
米	815	6.4%	824	5.6%
昆布締め	323	2.6%	291	2.0%
ラーメン	282	2.2%	238	1.6%
果物	209	1.7%	347	2.3%
ホタルイカ	117	0.9%	241	1.6%
肉	56	0.5%	76	0.5%
チケット*1	6,632	52.2%	8,084	55.1%
その他食品*2	1,079	8.4%	1,000	6.8%
その他*3	192	1.5%	189	1.3%
合計	12,700		14,683	

*1… コストクーポン(～R5.9.30)、日本橋とやま館富山はま作特別コース、ゴルフプレー券 など

*2… 醤油、干物、鱒ずし、海鮮加工品、パンなど

*3… キッチンナイフ(～R5.9.30)、ドラえもんトラムブラレール、家具など

図2



4 返礼品の品目数

303(令和5年3月) → 305(令和6年3月)

※新規品目: 魚介おつまみ3種食べ比べセット、原木椎茸、遊漁船チケット、カニ定期便 など

5 令和5年度取組状況

令和5年10月以降、地場産基準等ルール of 厳格化により返礼品が減ったが、遊漁船チケットなどの体験型返礼品の追加や原木椎茸など新たな地場産品の掘り起こしにより、返礼品数を増やした。

ポータルサイトごとの寄附促進イベントに参加し、限定商品を提供するなど、多くの寄附者に選ばれるよう取り組んだ。

令和6年能登半島地震の被害を受け、ふるさと納税を通じた災害支援の寄附(返礼品無し)を開始した。

今後も市内事業者と協議しながら新たな特産品や地域資源を活用した体験型返礼品など、魅力ある返礼品の拡充を図っていく。

港町地内の土質調査について

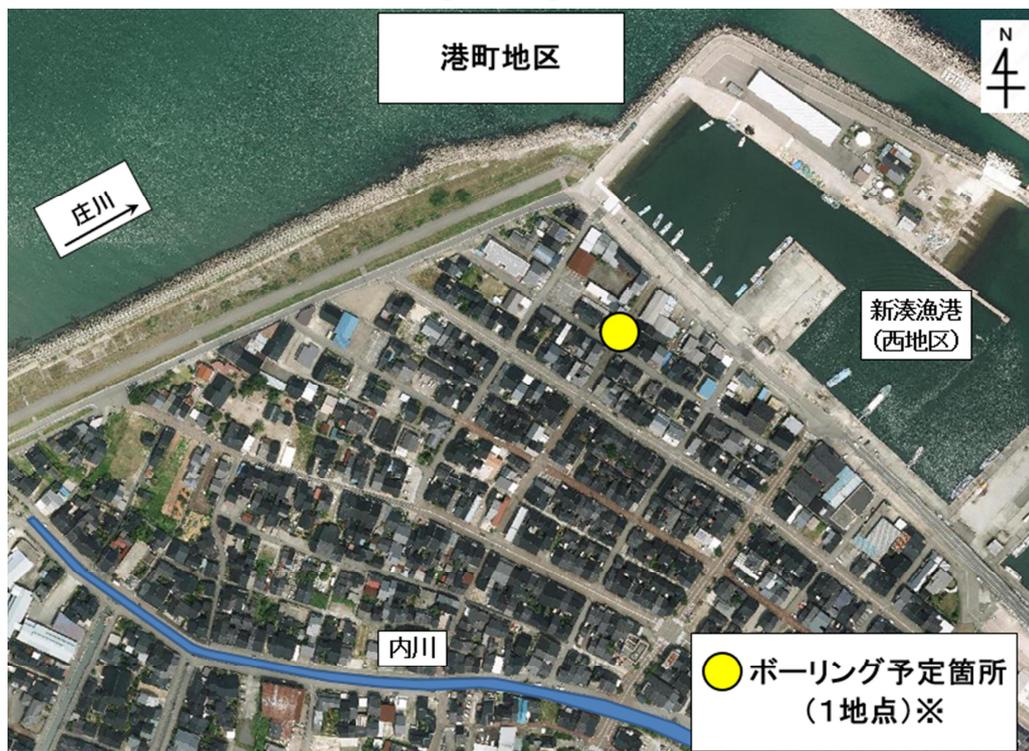
1 目的

令和6年能登半島地震により、道路や宅地等における液状化の被害が集中した港町地区を対象に、道路等の公共施設と宅地の一体的な液状化対策等について、調査・検討する。

2 委託の概要

- (1) 契約金額 13,090,000円
(うち消費税等1,190,000円)
- (2) 受注者 三和ボーリング株式会社
- (3) 工期 令和6年4月16日から令和6年8月30日まで
- (4) 内容 ①ボーリング調査(1地点)
②室内土質試験
③解析業務
④液状化対策工法の検討
⑤各対策工法における概算事業費算定

[位置図]



※詳細な実施箇所は、受注者や地元と調整のうえ決定